

## 基本情報

所属	現代ビジネス 学部 国際社会学科	氏名	大形 里美 Ohgata Satomi
職名	教授	E-mail	ohgata@cb.kiu.ac.jp
		研究室ウェブサイト	

### ■ 学歴・取得学位

1990(平成 2)年 3 月	東京外国語大学外国語学部インドネシア・マレーシア語学科卒業
1993(平成 5)年 3 月	東京外国語大学大学院外国語学研究科修士課程修了 文学修士
2006(平成 18)年 3 月	北九州市立大学 社会システム研究科博士課程（地域社会システム専攻）単位取得満期退学

### ■ 主な職歴

1995(平成 7)年 4 月 -1999 (平成 9) 年 3 月	東京外国語大学 非常勤講師 ／東京地方裁判所 通訳 他
2000 (平成 12) 年 4 月	九州国際大学（現在に至る）

## 教育活動

### ■ 主な担当授業科目

○ 学 部：インドネシア語、比較宗教論、カルチュラル・スタディーズ(宗教)

### ■ 教育上の特記事項

- 教科書・教材：『インドネシア語を学ぼう』朝日出版社 2016 年
- 免許・資格： インドネシア語技能検定試験受験者の指導

## 研究活動

### ■ 研究分野

研究分野	インドネシアのイスラム
主な研究テーマ	インドネシアのイスラム社会運動
キーワード	イスラム、ジェンダー、思想

### ■ 主な著書・論文等

#### 著書

- (単)『インドネシア語を学ぼう！』朝日出版社、2016 年
- (共)『現代インドネシアを知るための 60 章』明石書店、2013 年  
「ジェンダー」 pp.91-95、「イスラム急進派の動向」 pp.245-249、「イスラーム防衛戦線 イスラーム服を着たチンピラ」 pp.250-252

論文

- (単) 「インドネシアにおけるLGBT運動を取り巻く状況—LGBT運動の展開と近年の対立の構図—」 『九州国際大学国際・経済論集』九州国際大学現代ビジネス学会, 第3号, 2019年3月, pp47-78, 査読無.
- (単) 「女子割礼とインドネシアのイスラム社会—リベラル派と保守派の交錯—」, 『九州国際大学社会文化研究所紀要』第70号, 2012年8月, pp.49-92, 査読無.
- (単) “Changing Japanese Society and Women” Shakai Bunka Kenkyusho Kiyo Vol.66, Institute of Social Science and the Humanities in Kyushu International University, August 2010, pp.51-68, 査読無.
- インドネシアにおけるイスラム教徒のイスラム教義理解とその実践、及びジェンダー規範—意識調査の分析(その2): ジェンダー関連項目—, 九州国際大学 国際関係学論集 第5巻1・2合併号, 2020年3月, pp.97-136, 査読無.
- (単) 「ジェンダー平等の視点からイスラム法学を再構築する試み—インドネシアのウラマー: フセイン・ムハンマド氏の思想と活動—」, 2009年3月, 早稲田大学イスラム科学研究所 『イスラム科学研究』第5号, pp.29-42, 査読無.
- (単) 「現代インドネシアにおけるイスラム教徒のイスラム教義理解と実践に関する意識調査」, 『九州国際大学国際関係学論集』第4巻第1・2合併号, 2009年3月, pp.117-157, 査読無.
- (単) 「インドネシア・ムスリム社会における宗教的寛容性—「リベラル派イスラム」とその周辺(II)」, 『九州国際大学国際関係学論集』第3巻第1・2合併号, 2008年3月, pp.1-39, 査読無.
- (単) 「インドネシア・ムスリム社会における宗教的寛容性—「リベラル派イスラム」とその周辺(I)」, 『九州国際大学国際関係学論集』第2巻第2号, 2007年3月, pp.1-50, 査読無.

学会発表

- (単) 「インドネシアにおける婚姻法改革をめぐる状況—異教徒間結婚についての議論—」第49回日本インドネシア学会(2018年11月18日) 於: 南山大学
- (単) 「インドネシアにおける性的マイノリティーを取り巻く状況~インドネシアにおけるLGBT運動の発展プロセスとLGBT運動をめぐる対立の構図~」第48回日本インドネシア学会(2017年11月11日) 於: 天理大学(杣之内キャンパス)
- (単) 「イスラム新興ビジネスの担い手: ヒジャバーズ・コミュニティーのメンバーたちのイスラム教義理解と実践のあり方~実証研究の成果から見えてきたこと~」日本インドネシア学会 第47回研究大会, 2016年11月19日(於: 愛知県立大学)
- (単) “Dinamika perkembangan Bisnis Islam baru di Indonesia” ASJI(インドネシア日本研究学会) 主催研究会(於: インドネシア大学、日本研究センター) 2015年3月3日
- (単) 「インドネシアにおけるイスラム新興ビジネスの動態」第45回日本インドネシア学会(於: 神田外国語大学) 2014年11月16日
- (単) 「インドネシアにおけるイスラム新興ビジネスとその担い手たち~イスラム思想、イスラム運動との関わり~」第44回日本インドネシア学会(於: 摂南大学), 2013年11月10日

- (単) 「インドネシアにおけるイスラム新興ビジネスとイスラム思想～ムスリマ専用サロンとイスラム教義～」第43回日本インドネシア学会 (於：慶應義塾大学湘南藤沢キャンパス, 2012年11月18日)
- (単) 「インドネシアにおける女子割礼をめぐる状況—女子割礼をめぐる言説とその実践—」,第42回日本インドネシア学会 (於：京都産業大学) ,2011年11月13日
- (単) 「近代派」イスラム組織ムハマディヤーの伝統と現代インドネシア・イスラム社会」,第41回日本インドネシア学会 (於：拓殖大学) , 2010年11月14日
- (単) 「ナフダトゥル・ウラマーにおける保守派とリベラル派の対立～女子割礼をめぐる～」,東南アジア学会 九州地区研究会 (於：九州大学六本松キャンパス) , 2010年5月29日
- (単) 「インドネシアにおけるイスラムとジェンダー —実証研究からみえてきたこと—」,九州地区研究会 (於：九州大学六本松キャンパス) , 2007年2月16日
- 「インドネシアにおけるイスラム教義の理解と実践に関する実証研究—アンケート結果の分析 (その1)」第38回日本インドネシア学会 (於：南山学園研修センター) ,2007年11月11日

その他

<国際会議、公開講座など>

- (単) 「インドネシアにおける一夫多妻婚、秘密婚、異教徒間の結婚について」KFAW アジア研究者ネットワークセミナー イスラーム・ジェンダー科研 公開セミナー 「イスラーム世界の結婚最前線」 2017年10月22日
- (単) ”The Image of Islam in Japan; Muslim Children and their Mothers are “Real Ambassadors”of Islam in Japanese Society.”The 6th World Peace Forum (第6回世界平和会議) (於：インドネシア共和国、ジャカルタ、Grand Sahid Jaya Hotel Jakarta.) 2016年11月3日
- (単) イスラーム公開講座「最近のインドネシアムスリムの動向」日本ムスリム協会主催 (於：筑紫ロビビジネスセンター) 2016年10月30日
- (単) Dinamika perkembangan Bisnis Islam baru di Indonesia” ASJI (インドネシア日本研究学会) 主催研究会 (於：インドネシア大学、日本研究センター) 2015年3月3日
- (単) 「インドネシアにおけるイスラムとジェンダー」アジュマルディ・アズラ氏 福岡アジア文化賞 受賞記念市民フォーラム パネルディスカッション パネリスト 於：アクロス福岡) 2014年9月21日
- (単) Public Lecture : “Tinjauan Multi-disipliner terhadap Muen Shakai pada Masyarakat Jepang dewasa ini.” (現代日本社会における無縁社会に対する学際的考察) 2013年9月11日 於：インドネシア共和国、ダルマ・プルサダ大学
- (単) International Conference on Muhammadiyah (ICM) 2012, Indonesia. 29 November — 2 December 2012.  
 タイトル: "Progressiveness and Conservatism with respect to Islamic Teachings among Grassroots Members of Muhammadiyah: Regional Differences and Comparisons with NU"ar ~Survey Results and Some Contemplations about Gender Issues in the History of Muhammadiyah~"

- (単) “Islam and Gender Mainstreaming in Indonesia”, Seminar of Indonesia: Indonesian Student Association in Japan (立命館アジア太平洋大学&インドネシア共和国大使館主催、於；立命館アジア太平洋大学), 2010年2月6日
- (単) 「ジェンダーの視点からみた近代派イスラームと伝統派イスラーム」南山大学アジア・太平洋研究センター主催セミナー, 2009年2月22日
- (単) “Changing Japanese Society and Women” 日本インドネシア国交樹立50周年記念シンポジウム, (於：インドネシア、ジャカルタ) 2008年11月1日

<翻訳・紹介>

- (単) 翻訳・紹介「現代インドネシアの詩と詩人～その3ーティムール・シナール・スプラバナ (Timur Sinar Suprabana) 氏の詩ー」九州国際大学社会文化研究所 紀要第76号 (平成27年9月), 2015年9月, pp.67-110, 査読無.
- (単) 翻訳・紹介「現代インドネシアの詩と詩人～その2ーAbdul Hadi 氏の詩とイスラム神秘主義文学におけるシンボリズム (アッタールの鳥の諷諭の伝播)ー」『社会文化研究所 紀要』第74号、2014年8月、pp.33-67, 査読無.
- (単) 翻訳・紹介「現代インドネシアの詩と詩人～その1ーA.ムストファ・ビスリ師 (A.Mustofa Bisri : 通称グス・ムス) の詩ー」『社会文化研究所 紀要』第72号、2013年8月、pp.69-94, 査読無.

<ニュース・レターなど>

- 「LGBT問題をめぐるモラル・パニックー刑法改正案とLGBT運動を取り巻く状況ー」『インドネシア ニュースレター No.98』 日本インドネシア NGO ネットワーク pp.2-13, 査読有.
- 「アホックの収監とハビップ・リジックの逃亡から見えてくること」『インドネシア ニュースレター No.95』 日本インドネシア NGO ネットワーク (JANNI) 2017年9月, pp.19-31, 査読有
- 「宗教的少数派に対する暴力事件の背景～反シーア派運動を中心に～」『インドネシア ニュースレター No.92』 日本インドネシア NGO ネットワーク (JANNI) 2016年8月, pp.2-11, 査読有.
- 「インドネシアのイスラミック・ファッション業界とイスラム思想」『インドネシア ニュースレター No.89』 日本インドネシア NGO ネットワーク (JANNI) 2015年9月, pp.20-34, 査読有.
- 「インドネシアのムスリマ専用サロン」『インドネシア・ニュースレター No.83』 日本インドネシア NGO ネットワーク (JANNI), 2013年8月, pp.48-57, 査読有.
- 「イルシャッド・マンジ、レディー・ガガ、イスラム過激派 FPI(イスラム擁護戦線)～揺さぶられるインドネシア/イスラム社会」『インドネシア・ニュースレター No.80』, 日本インドネシア NGO ネットワーク (JANNI) , pp.36-47, 査読有.
- 「通称『ニカ・シリ法案 (ドラフト)』をめぐる騒動」『インドネシア ニュースレター No.71』 日本インドネシア NGO ネットワーク (JANNI) , 2010年3月, pp.34-44, 査読有.
- 「大統領選と『スカーフ騒動』」『インドネシア・ニュースレター No.68』 日本インドネシア NGO ネットワーク (JANNI) , 2009年8月, pp.20-27, 査読有.
- 「イスラム社会の新たな亀裂(モナス事件とポルノ規制法)」『インドネシア ニュースレター No.66』 日本インドネシア NGO ネットワーク (JANNI) , 2009年2

月, pp.36-44,査読有.

■ 大学就任以前の主な業務上の実績

( )年 月 特になし

■ 主な所属学会

東南アジア学会、日本インドネシア学会、日本イスラム協会

■ 受賞等

( )年 月 特になし

■ 研究助成金による研究

- 2001 年度-2002 年度 科学研究費補助金[基盤研究 (C) (1)]  
研究課題「NGO はジェンダーの主流化の進展にどのような役割を果たしているかー東南アジアを中心に」
- 2004 年度-2006 年度 科学研究費補助金[基盤研究 (C) (2)]  
研究課題「インドネシアにおける民主化とジェンダーの主流化」
- 2012 年度 - 2014 年度 科学研究費補助金[基盤研究 (C) ]  
研究課題「インドネシアのイスラム復興現象と新展開ーイスラム新興ビジネスの発展と動態ー」
- 2019 年度ー 科学研究費助成金[基盤研究 (B) ]  
研究課題「ポスト植民地における女性の身体ー東南アジアとアフリカの「女性器切除」ー」

社会における活動等

2019 年 4 月ー「北九州ムスリム・フレンドリー推進プロジェクト」事務局

大学運営活動等